

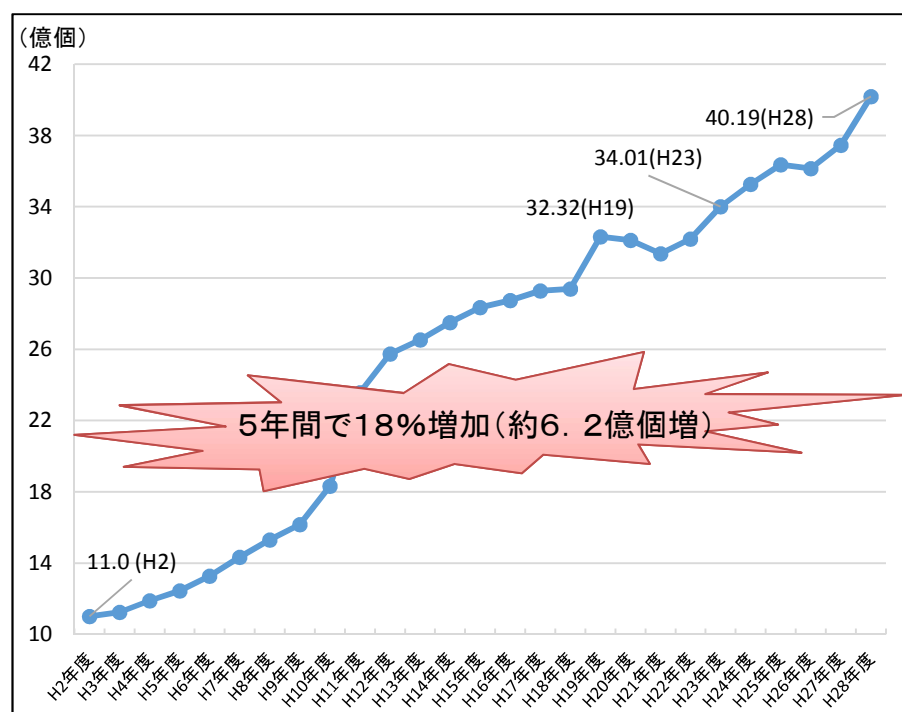
# 道の駅を活用した再配達削減実験 の状況について(報告)

---

# 宅配の再配達の現状

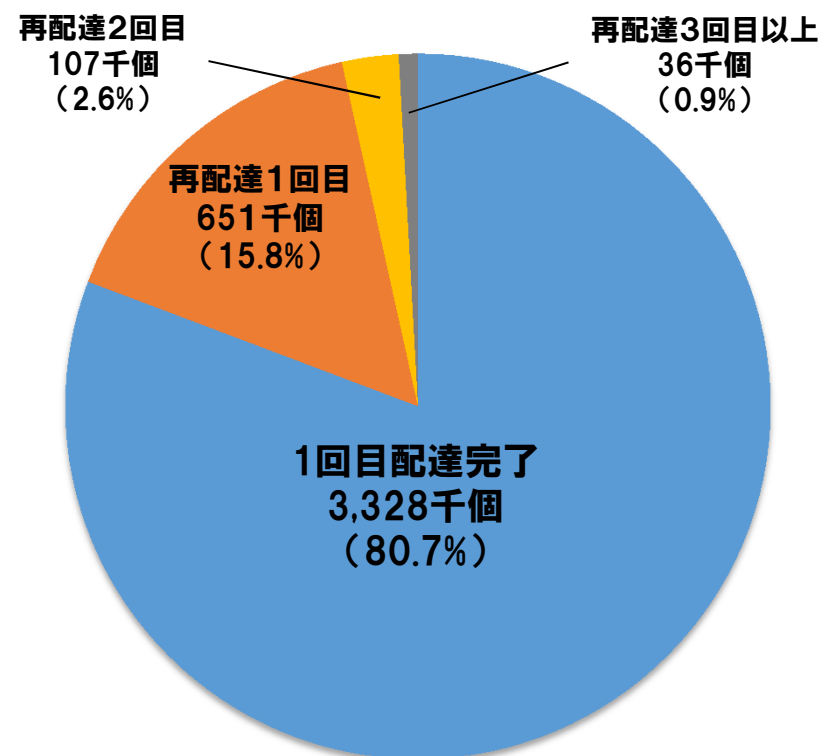
- 電子商取引の急速な発展に伴い宅配便取扱個数は平成23年度から平成28年度の5年間で約18%増加。一方で、宅配便の約2割が再配達。
- トラックドライバー不足が進行するなか、トラックドライバーの約1割に相当する労働力が再配達に消費（年間約1.8億時間、年間9万人分）。

## ■ 宅配便取扱実績の推移



出典：国土交通省「平成28年度宅配便等取扱個数の調査」  
 注：平成19年度から日本郵便(株)の取扱個数も計上している。

## ■ 再配達の発生状況

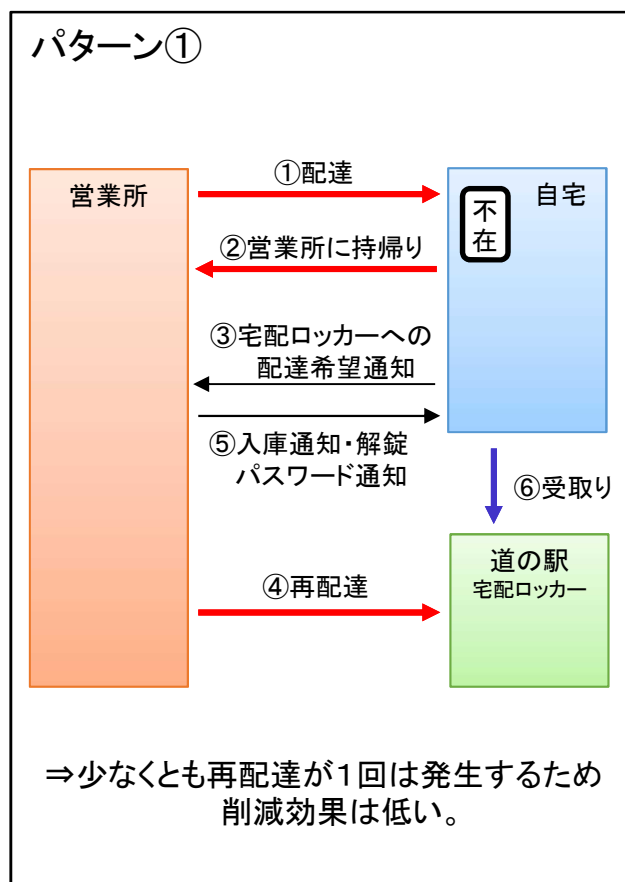


出典：平成26年12月 宅配事業者3社によるサンプル調査  
 注：全宅配便取扱個数（平成25年度：36.4億個）の約0.1%

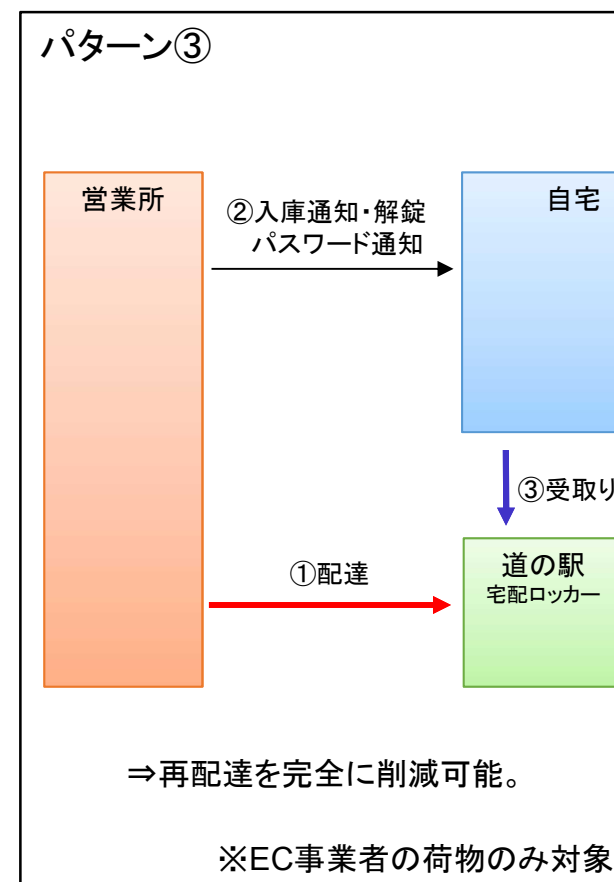
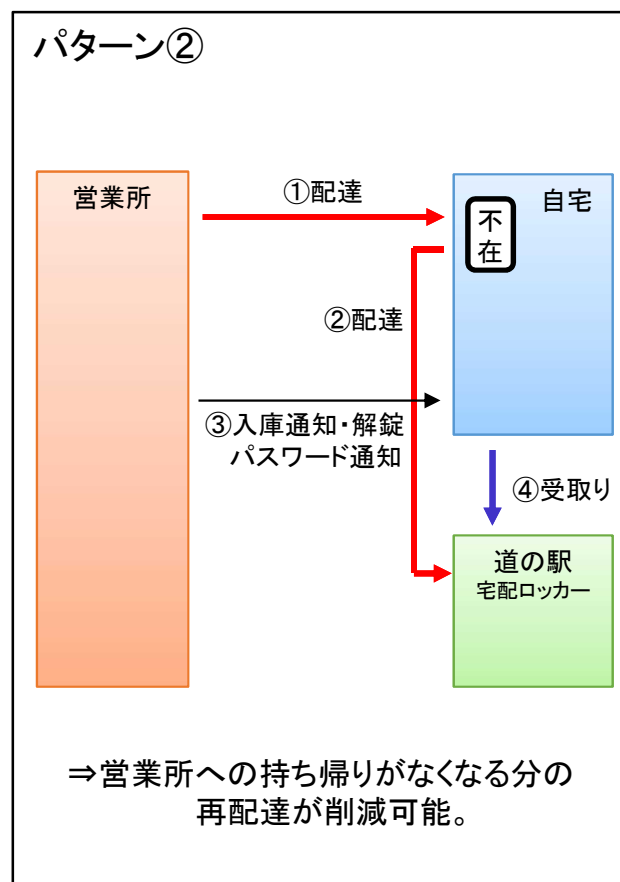
# 再配達削減の方策

- 宅配ロッカーを活用した再配達の削減方策として以下の3つの方式が存在。
- 平成28年10月から、第1段階として、パターン①「不在票活用方式」を実施し、平成29年11月17日より、第2段階として、再配達の削減効果が高いパターン③「直送方式」を追加実施。

STEP1: 平成28年10月24日から実施



STEP2: 平成29年11月17日から実施



※パターン②については、運用に係る事業者の負担や利用者の合意の確実な担保等の課題があるため、実施の可否を検討中

# 実験箇所の概要

＜選定の考え方＞（宅配事業者と調整して設定）

- ①道の駅の利用者の多さ: 約63万人
- ②周辺市街地の広がり: 東武野田線の駅周辺に市街地が広がり、比較的市街地から近いところに道の駅が立地
- ③設置スペース: 情報提供施設に利用に適した空間
- ④宅配事業者のロッカー運用管理: 宅配事業者の営業所が近くに立地

## 道の駅「庄和」

所在地: 埼玉県春日部市

路線名: 国道4号(春日部古河BP)

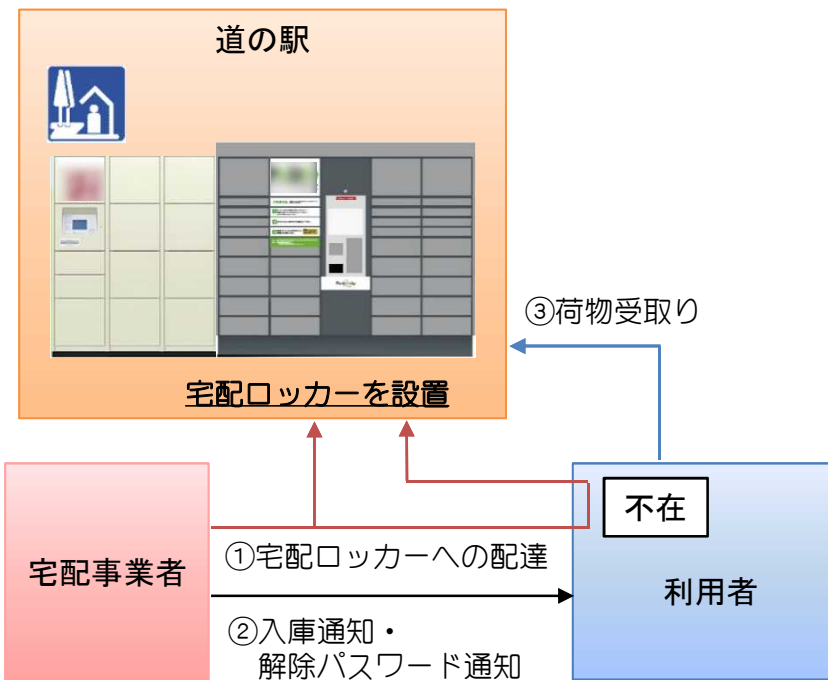


宅配ロッカーの設置状況



＜実施概要＞

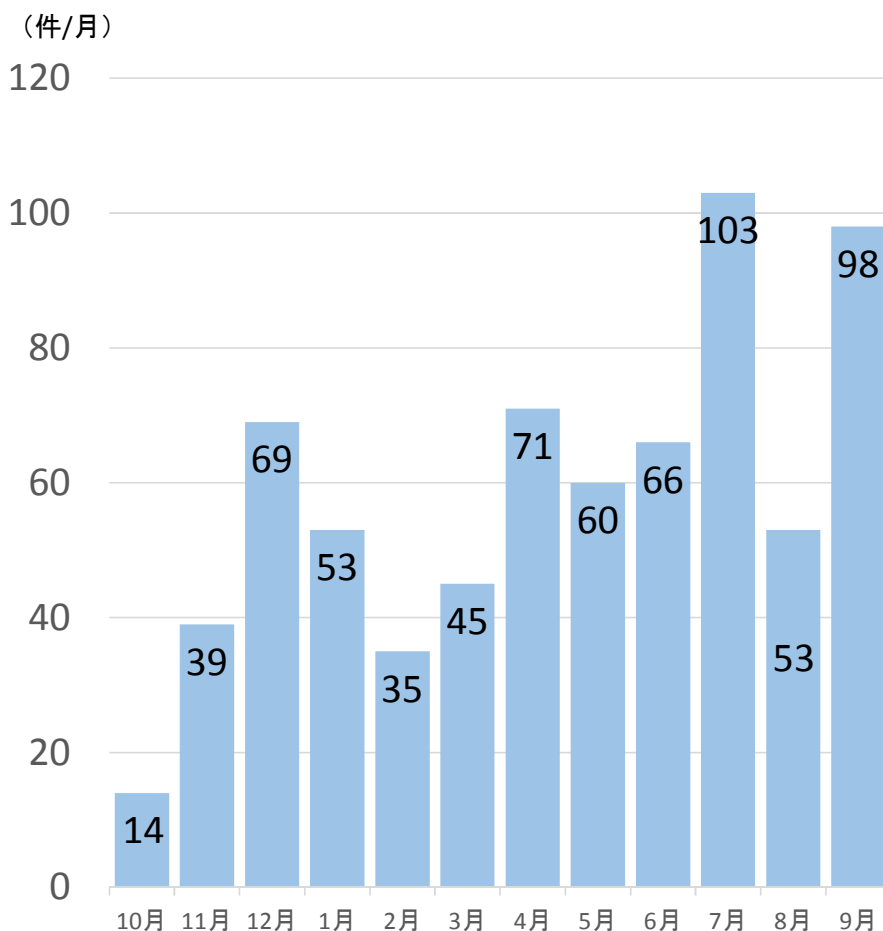
- 1. 実験期間: 平成28年10月24日(月)～
- 2. 実施箇所: 道の駅「庄和」(埼玉県春日部市上柳)
- 3. 実施主体: 道の駅を活用した再配達削減社会実験協議会
- 4. 対象荷物: 佐川急便、日本郵便、ヤマト運輸の荷物
- 5. 運用時間: 24時間受取り可能
- 6. 設置ロッカー: はこぼす(3列16口)、PUDO(5列36口)



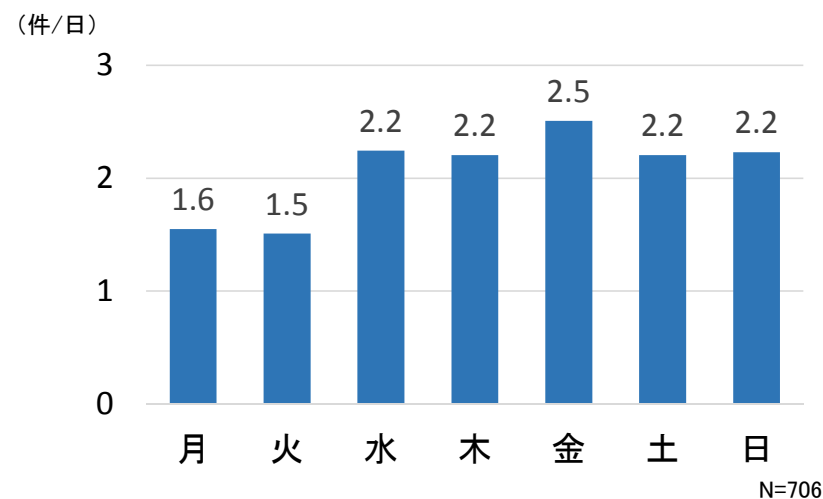
# 利用実績

- 宅配ロッカーの利用件数(出庫数)は、約11ヶ月間で706件、1日あたり平均2.1件の利用。
- 曜日別では週の後半や土日の利用がやや多く、利用時間帯は、18時～24時の利用が平日の約7割、休日の約4割を占める。

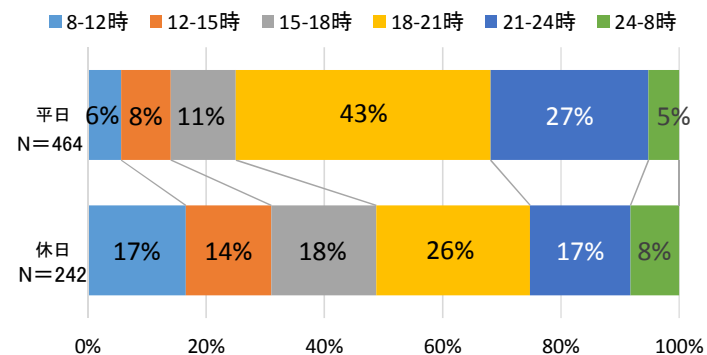
## ■ 利用件数(出庫数):計706件



## ■ 曜日別平均利用件数



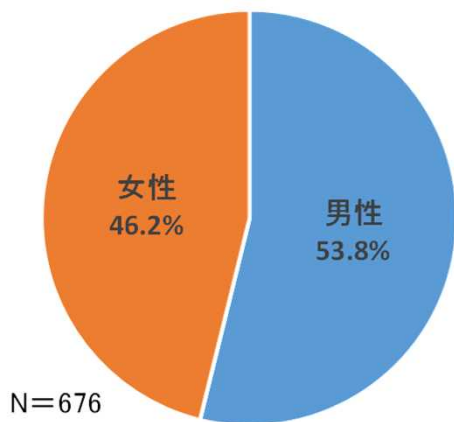
## ■ 受取時間帯シェア



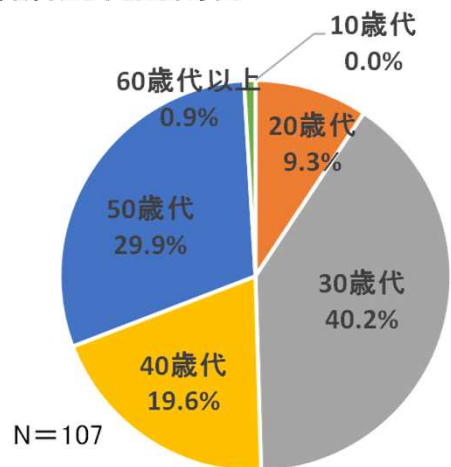
# 利用者特性

- 利用者の属性は、女性より男性の方がやや多く、年齢は30代、50代の利用が多い。
- 道の駅近傍に居住している利用者だけでなく、道の駅から5km以上離れた居住者の利用も見られる。

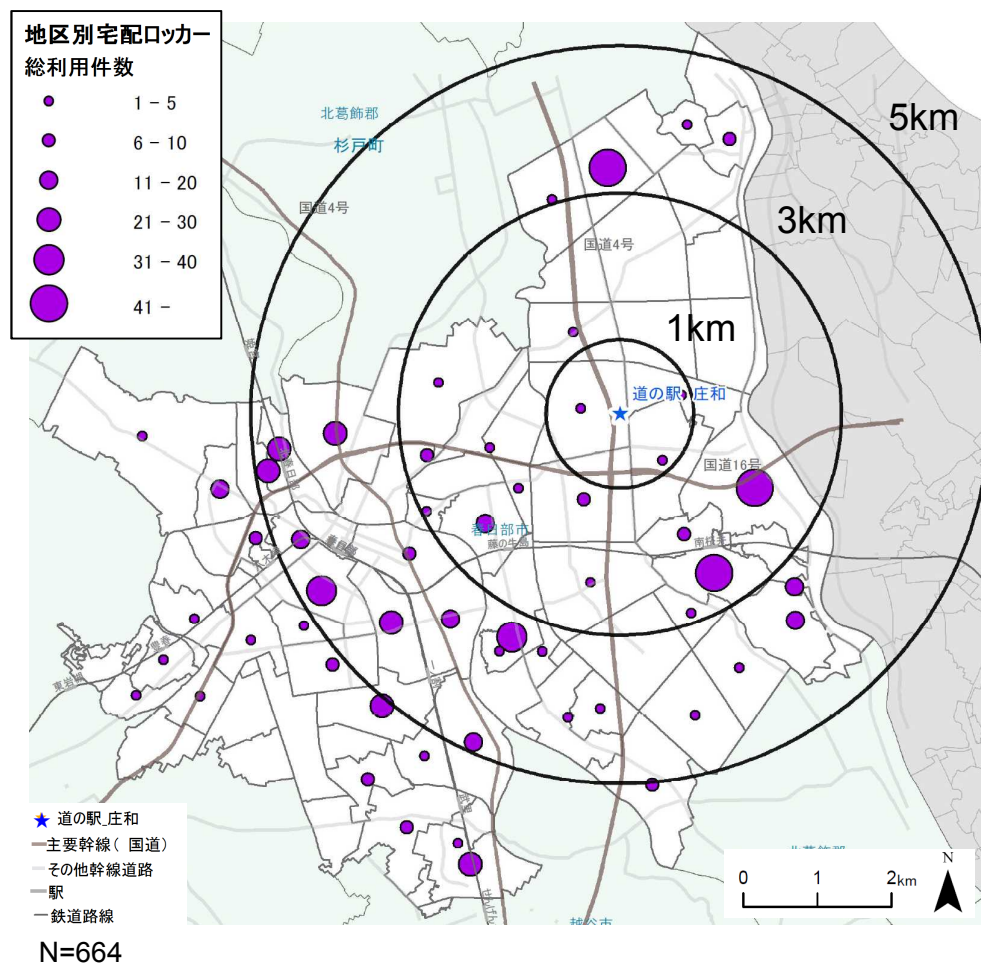
■ 男女別利用割合



■ 年齢階層別利用割合



■ 居住地分布

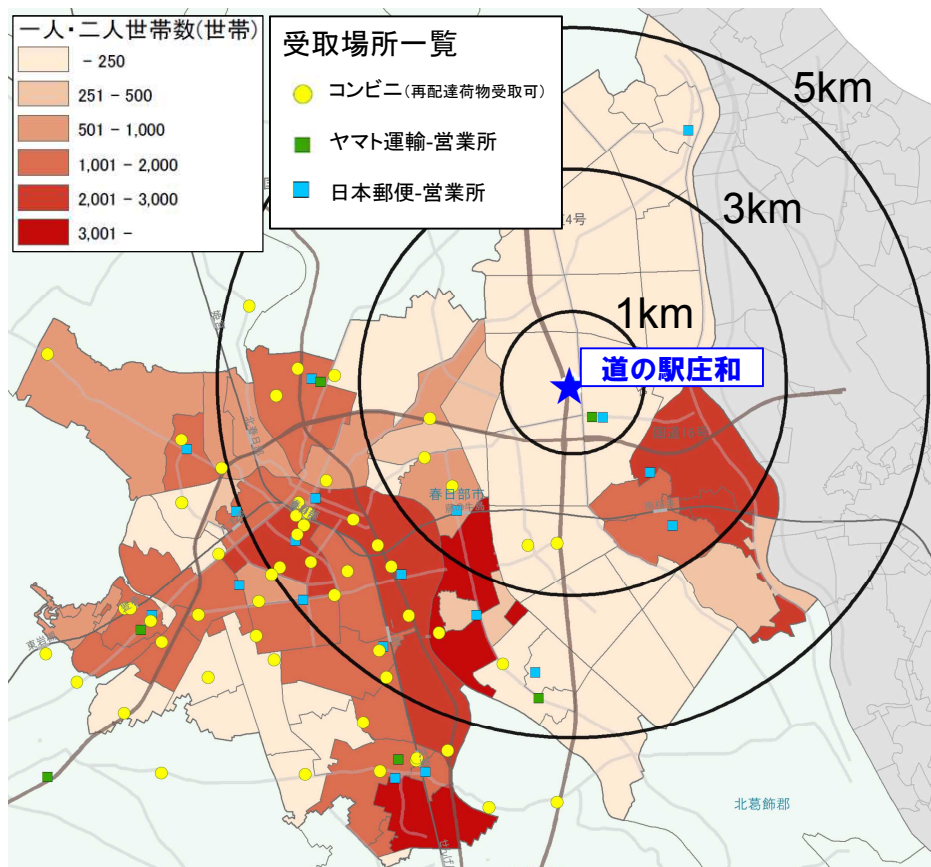


資料: 宅配事業者提供データ(集計期間は28/10/24~29/9/30の約11ヶ月間)

# 利用が低調な要因分析

- 再配達荷物の受取が可能な施設(宅配事業者営業所、郵便局、コンビニ)が多数立地しており、これらの施設との競合により利用が伸び悩んだ。
- 道の駅近傍は一人世帯、二人世帯が少なかったため、道の駅近傍の居住者の利用が少なかった。

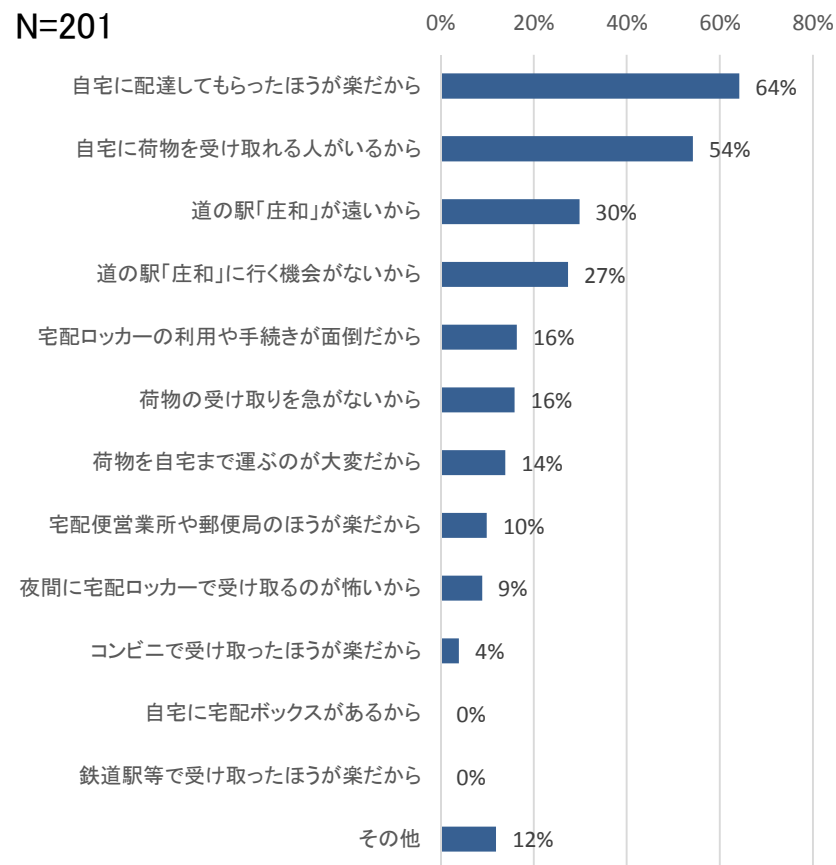
## ■一人二人世帯数の分布と共同施設の立地



人口データ出典: H22国勢調査

※道の駅の3~5km圏も宅配ロッカーの利用あり  
(本社会実験の利用者の約5割は、3~5km圏の利用者)  
データ出典: 宅配事業者提供データより

## ■道の駅の宅配ロッカーを利用しない理由



資料: 道の駅「庄和」周辺住民アンケート調査(平成29年2~3月実施)

## 今後のスケジュール

	実施内容	
H28年度	10月	・実験協議会の設立 ・宅配ロッカーの運用開始(不在票活用方式)
H29年度	11月	・直送方式の追加
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>&lt;検証項目&gt;</p><ul style="list-style-type: none"><li>○宅配ロッカーのニーズ(ロッカーの適正規模(口数))</li><li>○再配達削減、労働時間削減への効果</li></ul></div>
H30年度	秋頃	・とりまとめ